

ASNOVA

事業計画及び成長可能性に関する事項

2025年6月27日

証券コード：9223

目次

01	ASNOVAとは	>	3
02	特徴と優位性	>	10
03	取り巻く市場環境と社会課題	>	19
04	業績ハイライト	>	23
05	成長戦略の振り返り	>	29
06	今後の成長戦略	>	35
07	Appendix	>	44

01

ASNOVAとは

PURPOSE

「カセツ」の力で、
社会に明日の場を創りだす。

会社名	株式会社ASNOVA
設立	2013年12月
本社所在地	愛知県名古屋市
従業員数	152名※（2025年3月末日時点）
主要事業	足場レンタル事業
代表	代表取締役社長 上田 桂司
証券コード	9223
グループ会社	ASNOVA VIETNAM Co.,Ltd. Qool Enviro Pte.Ltd.

ASNOVAの主要事業：足場レンタル

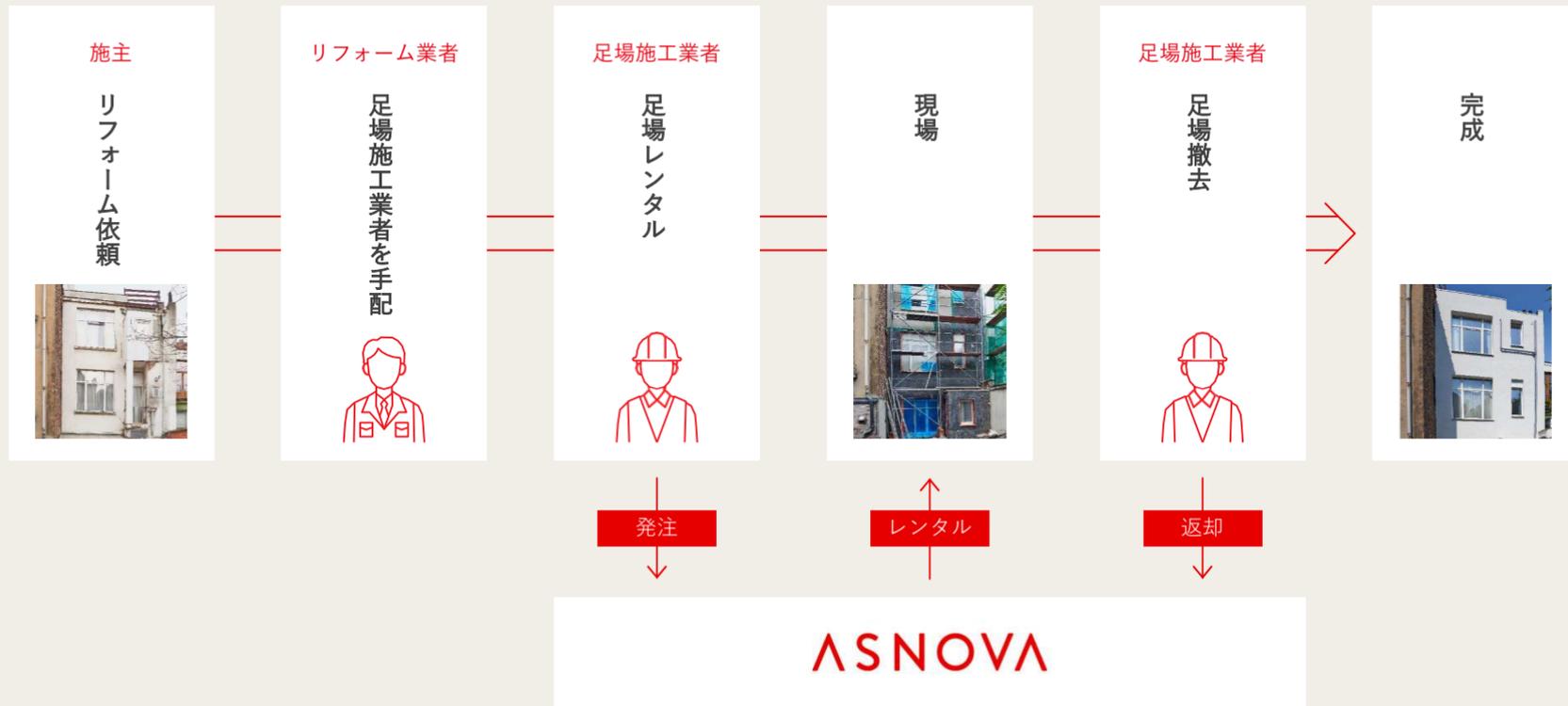
- 低中層の建物や住宅に使用される「くさび式足場」を中心に、足場施工業者などへ仮設機材をレンタル。
- さまざまな業種のお客様と取引することでリスクを分散。



複数の取引先から足場機材を仕入れることにより、資源高騰等に起因する調達困難となるリスクを低減。また、資源高騰により足場購入からレンタルへの移行が進み、レンタルニーズが旺盛になる。

メイン顧客は売上規模1億～3億円の足場施工業者

ビジネスフロー



ASNOVAが取り扱う「くさび式足場」の特長

- ASNOVAが取り扱うのは中低層マンションや戸建て住宅工事などで幅広く使用される「くさび式足場」。

ハンマー1本で
簡単に設置や
解体が可能



くさび式足場

施工・運搬・保管の
効率が高く
費用を抑えられる



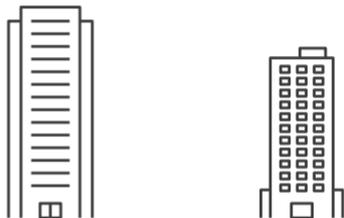
くさび式足場の使用割合

- くさび式足場は最も流通している足場であり、低中層マンションや住宅で多く使用される。
- マンションストック戸数のうち96.4%がくさび式足場の使用が可能。

■ マンションストック総数に対する割合

超高層マンション
(その他の足場を使用)

3.6%



2023年末時点
分譲マンション
ストック戸数

約**704.3**万戸

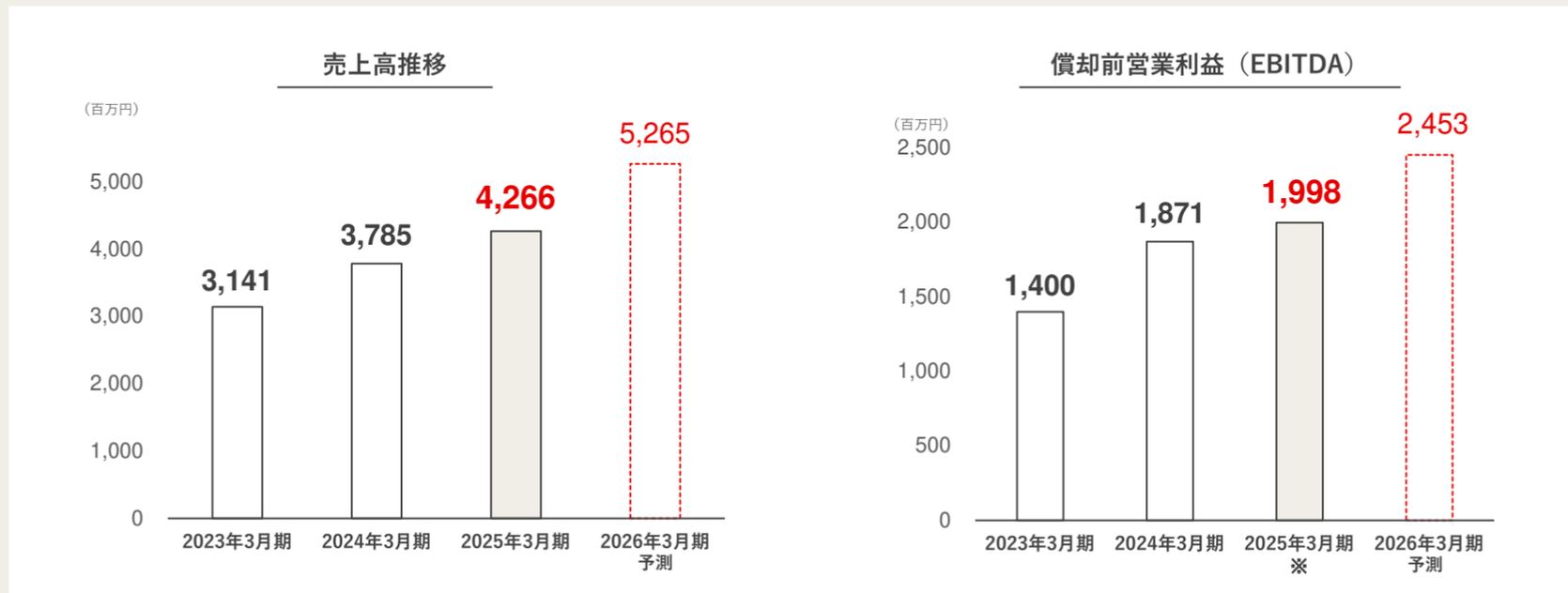
低中層マンション
(くさび式足場を使用)

96.4%



業績推移（連結）

- 売上高・償却前営業利益ともに堅調に推移し、過去最高を更新中。

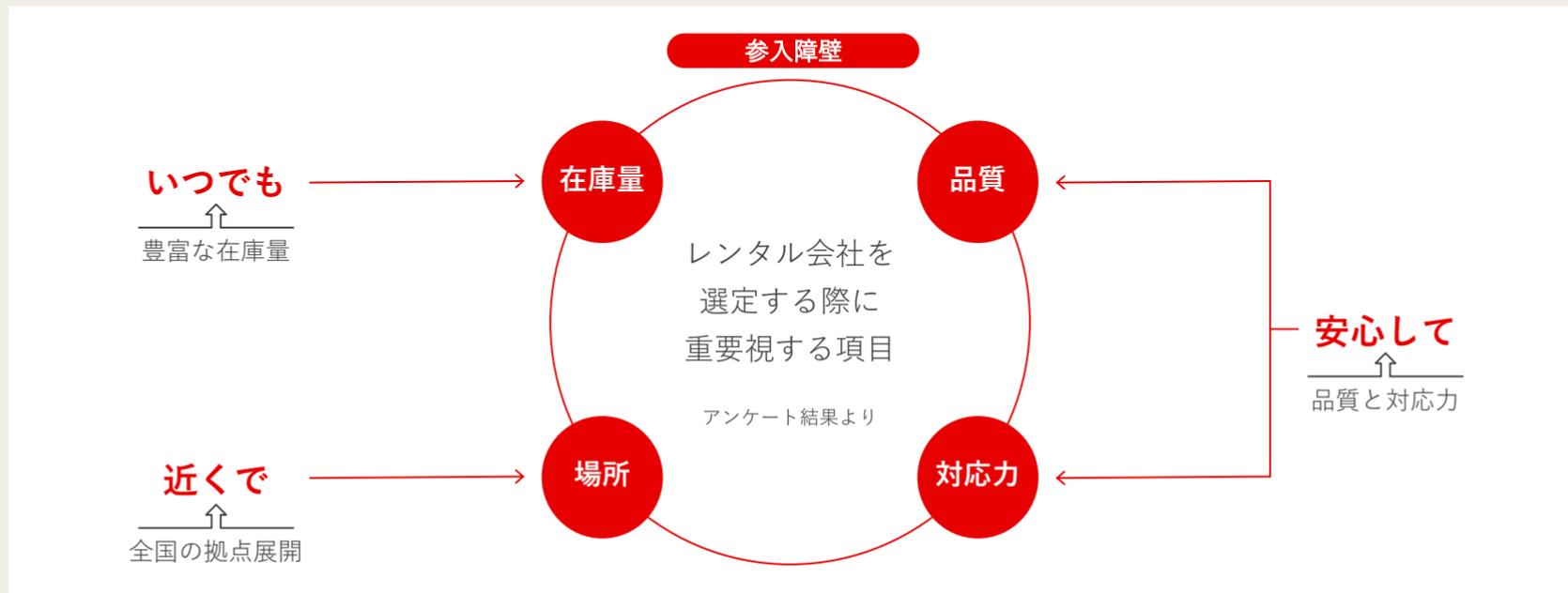


02

特徴と優位性

顧客がレンタル会社を選定する際に重要視する3つの項目

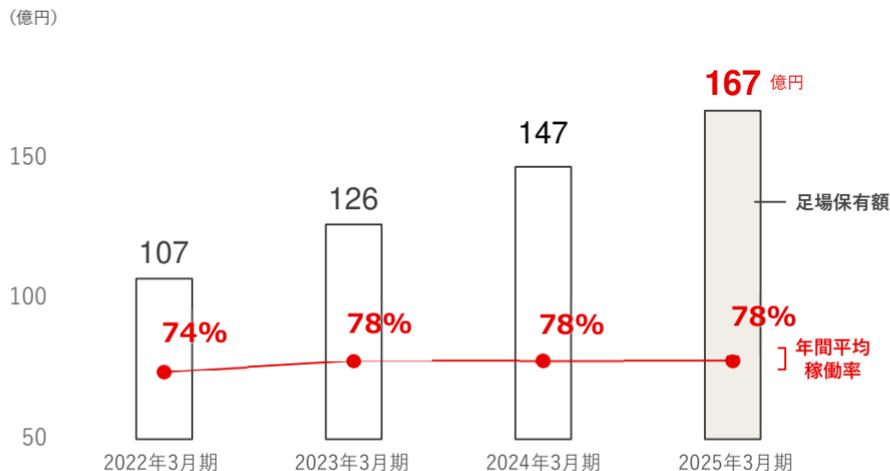
- お客様の声から、レンタル会社の選定には在庫量、拠点の近さ、機材の品質が重要という傾向を把握。
- お客様が求めている「いつでも、近くで、安心して」を当社では追求し、それが他社からの参入障壁となる。



いつでも：足場の保有量に対して、安定した稼働率を維持

- 上場以降年間約20億円のペースで在庫量を拡大。年間稼働率は安定している。
- 足場在庫を更に効率的に稼働できるよう、拠点間・パートナー間でも連携を強化していく。

足場保有額と年間平均稼働率

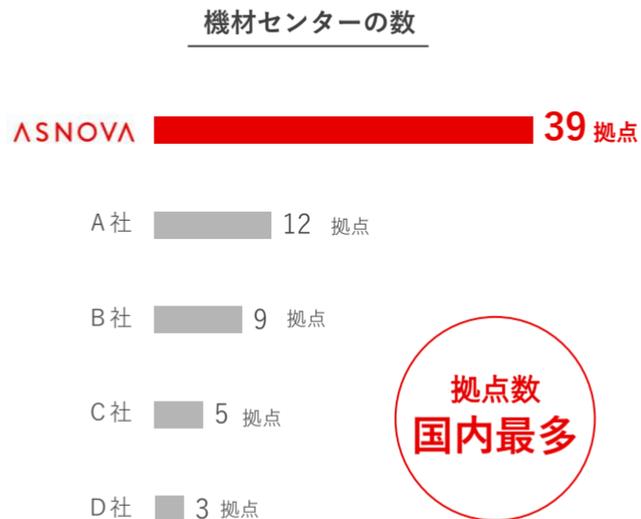
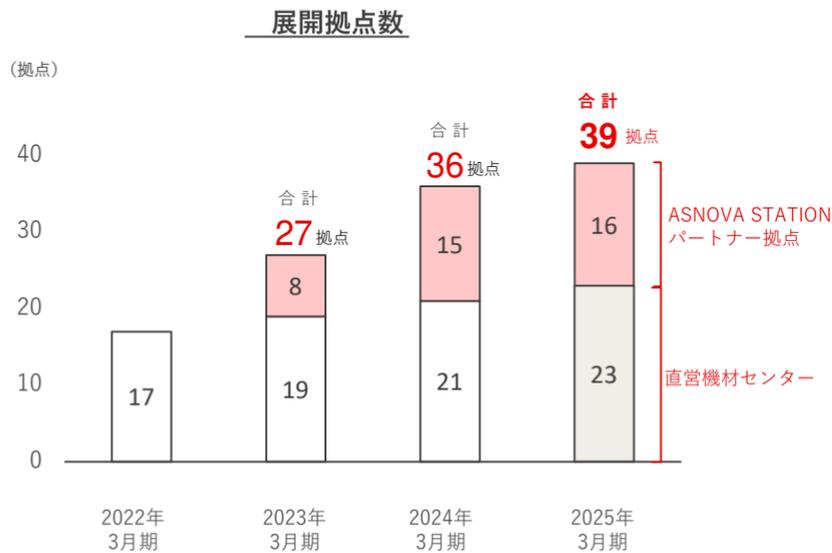


更なる高稼働化を目指す

同業他社※を圧倒する
豊富な足場在庫量を活かすべく
繁忙期の最大稼働率を
さらに高めていく

近くで：機材センター拠点の新規出店

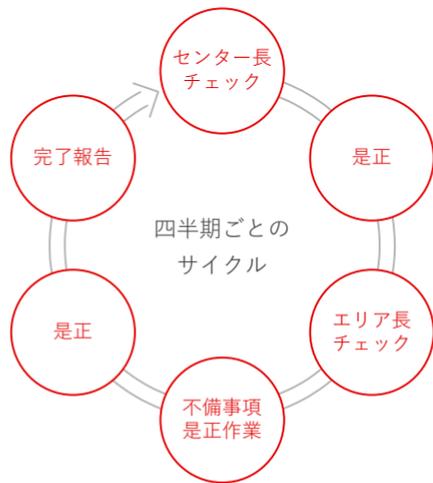
- 足場を近くで借りることができる環境を整える。
- 国内最多の拠点数を誇り、需要を見極めた拠点展開で売上増や顧客数増にも寄与。



安心して：お客様からの信頼

- 足場レンタル事業におけるくさび式足場の在庫管理は難易度が高いため、簡単には新規参入できない障壁となっている。
- 当社独自の管理ノウハウによる足場レンタルサービスは、「正確性・品質・迅速さ」等においてお客様から高い評価を得ている。

■ ASNOVA独自の管理ノウハウ



ASNOVAの優位性

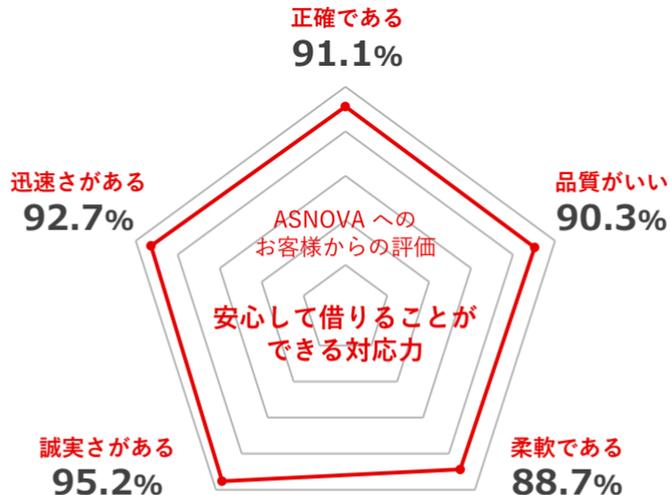
独自の管理ノウハウで
低い棚卸差異率※
(差異平均0.002%)



他社新規参入の
障壁になっている

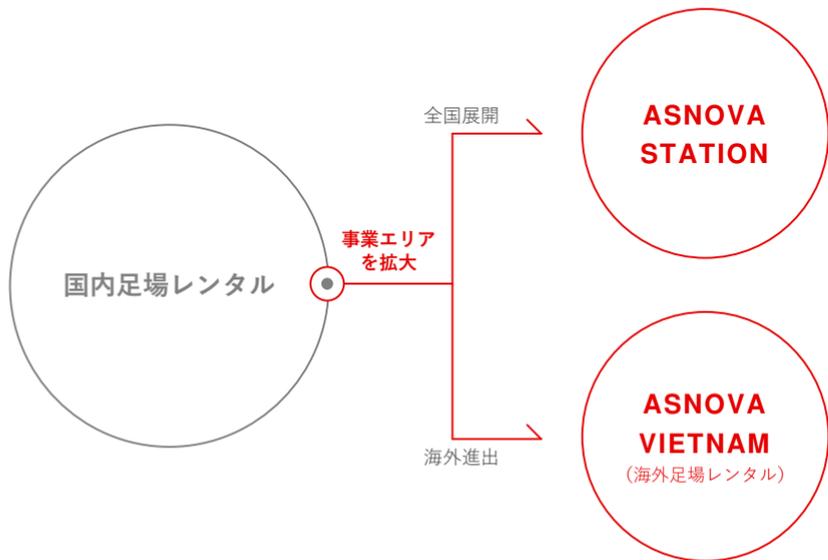
■ 当社顧客アンケート結果

2024年6月自社調べ
アンケート結果 (124社)
「かなり優れている」
「少し優れている」を集計



足場レンタルを“広げる”2つの事業

- 全国各地において安心して足場を提供できるよう、パートナー企業を通じた全国展開を推進。
- 足場レンタルをグローバル展開していく第一歩としてベトナムへ進出。2022年10月、現地にグループ会社を設立。



足場の需要が年々高まっている中で、パートナー企業に足場機材やノウハウを提供することで供給が間に合っていない地域においても足場を届けられる仕組みを確立。

—2022年10月事業ローンチ

アジアを起点とした海外展開を見据え、建設ラッシュで沸くベトナムに進出。品質・安全性の高い足場（日本での経年材）と日本で培ったノウハウを活用したレンタル事業を展開。

—2022年10月海外子会社設立（ベトナム）

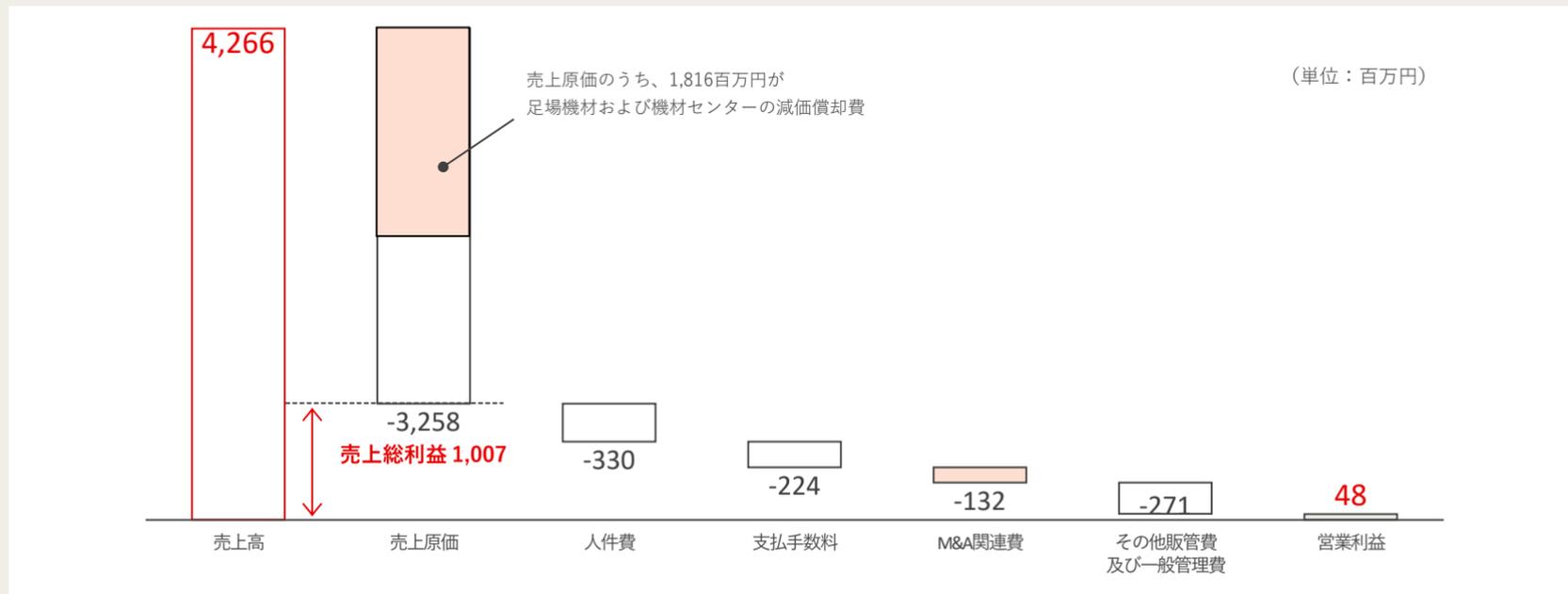
仮設業界におけるポジショニング

- 工事規模、顧客層の違いにより、枠組・次世代足場を取り扱う大手レンタル会社と棲み分けができています。
- くさび式足場レンタル業に特化している同業他社は、事業規模が比較的小さい非上場企業。

	会社規模	取り扱い機材	主な取引先
足場機材メーカー 大手レンタル会社	上場企業	枠組足場 次世代足場	<ul style="list-style-type: none"> ・大手ゼネコン ・中小ゼネコン ・大規模修繕会社 ・スーパーゼネコン ・大規模足場工事会社
ASNOVA	上場企業	くさび式足場	<p>多くのお客様と取引することでリスクを分散</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足場施工業者 ・中小ゼネコン ・大規模修繕会社 ・ハウスメーカー ・塗装・防水会社 ・工務店 ・リフォーム会社 ・個人大工 ・設備会社 ・イベント会社
くさび式足場 取り扱い同業他社	非上場企業 小規模企業		

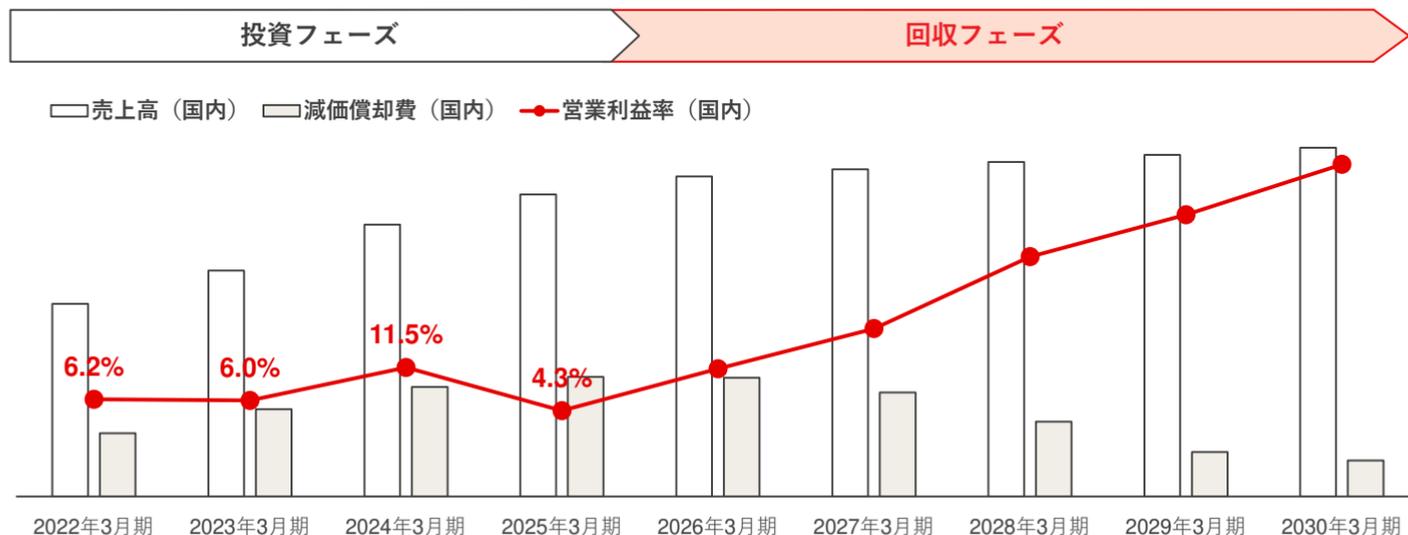
足場レンタル事業の収益構造（2025年3月期）

- 足場機材および機材センターの減価償却費のおもさとM&A関連費の計上により、2025年3月期の営業利益は前年比で減少。



国内足場レンタル事業の収益性

- これまでの投資フェーズでは見えにくかった収益性の高さが、投資フェーズに入り顕在化する。



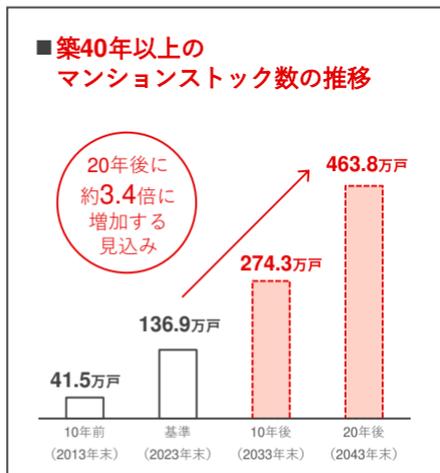
03

取り巻く市場環境と社会課題

需要の拡大が見込まれる足場レンタル

- 自然災害に対する防災や復興、住宅・マンションの老朽化といった社会課題の影響により、今後も足場の需要は伸びる見込み。
- 世の中の社会課題を解決するためにも、足場レンタルの普及は欠かせない。

ASNOVAは足場レンタルを通じて社会課題の解決に貢献していく



出典：国土交通省「築40年以上の分譲マンション数の推移」

社会課題



老朽化マンション増加



マンションの
修繕工事の増加



自然災害増加



災害予防工事や
復興工事の増加

地球温暖化などの
気候変動による影響から
自然災害の発生頻度と
被害額は増加

2020年基準改定で
消費者物価指数に
屋根修理費が追加

軽仮設材レンタル市場

- 令和6年度の軽仮設材レンタル市場規模は2,781億円。
- 足場レンタルはは今後も必要とされ市場規模の拡大が想定されている。

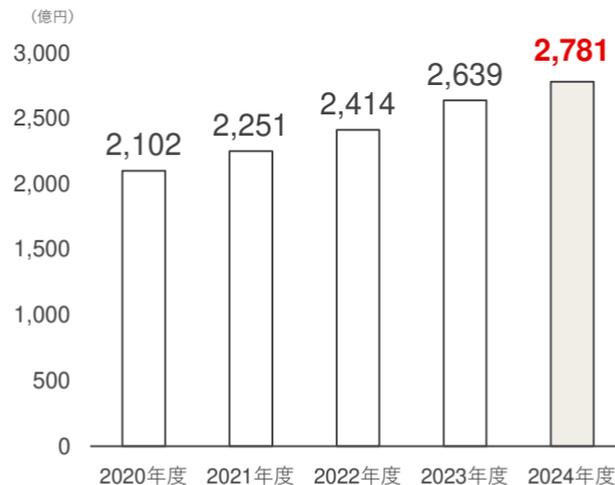
ASNOVAの事業領域

軽仮設材
レンタル
市場規模

年間
2,781億円

- **軽仮設材**
建築工事で主に使用され、人力による運搬が可能な軽量の資材
- **軽仮設材の主要品目**
足場材、鋼製型枠、丸角部材、長尺足場材、支保工部材、養生部材
- **当社の取り扱い品目**
足場材、丸角部材、長尺足場材、支保工部材、養生部材

軽仮設材レンタル市場規模の推移



ASNOVAが目指す「循環型社会」とは

- 気候変動や資源不足などの社会課題に対処するため、モノを皆でシェアするというビジネスモデルへの転換が重要。
- 足場レンタルは「足場をシェアする」という循環型ビジネスであり、社会課題の解決にも貢献する。

これまでのビジネスモデル

- 大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とした「**直線型ビジネス**」

社会課題

- 気候変動や資源不足が世界レベルで深刻化
- 自然災害の急増により、家屋の損壊などが年々増加
- マンションをはじめとする建物の老朽化も問題に

価値観の変化

- SDGsに代表されるように、持続可能な社会への意識が高まる
- モノの所有に対する意識も変化。社会の共有財産として、必要となしに必要な量をシェア・レンタルする考え方が浸透

期待されるビジネスモデル

- モノを皆でシェアする「**循環型ビジネス**」への転換



04

業績ハイライト

2025年3月期 業績ハイライト

- 売上高前年同期比+480百万円（+12.7%）となり過去最高値で着地。
- Qool社のM&Aに関する費用計上を足し戻した調整後償却前営業利益も過去最高値で着地。

売上高

4,266百万円

前年同期比 +480百万円
(+12.7%)

調整後償却前営業利益
(Adjusted EBITDA)

1,998百万円

前年同期比 +127百万円
(+6.8%)

調整後営業利益

181百万円

前年同期比 ▲168百万円

過去最高を更新

調整後償却前営業利益率

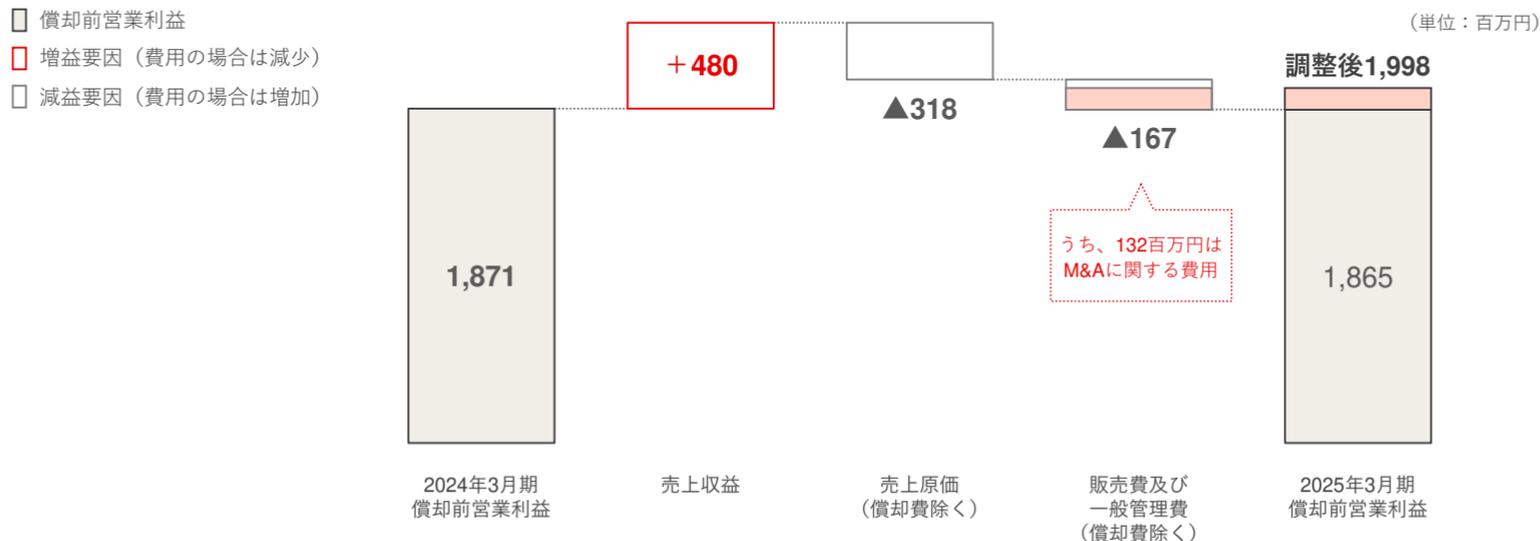
46.8%

前年同期比 ▲2.6pt

「調整後償却前営業利益」及び「調整後営業利益」は、それぞれ償却前営業利益と営業利益にM&A関連費用による一過性の費用（132百万円）を足し戻しております。

2025年3月期 連結償却前営業利益増減要因分析（前年同期比）

- M&Aに関する調査費用・仲介手数料等により販売費及び一般管理費が大きく増加し、償却前営業利益は微減。
- ただし一過性のM&A関連費用を調整すると、1,998百万円と過去最高値を更新。



2026年3月期の業績予想

- シンガポールのトイレレンタル会社Qool社のM&Aが寄与し、大幅な増収増益を見込む。

(売上高は前年比23.4%増の5,265百万円、償却前営業利益は前年比31.5%増の2,453百万円、営業利益は731.3%増の405百万円。)

(単位：百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期予想		増減額	前年比
	(連結)	(連結)	内、国内事業		
売上高	4,266	5,265	4,450	+ 999	+23.4%
償却前営業利益 (EBITDA)	1,865	2,453	2,241	+ 588	+31.5%
償却前営業利益率	43.7%	46.6%	50.4%	+2.9pt	-
償却前当期純利益 (税引前)	1,887	2,314	2,178	+ 427	+22.6%
営業利益	48	405	504	+ 352	+731.3%
営業利益率	1.1%	7.7%	11.3%	+ 6.6pt	-
1株当たり当期純利益 (EPS)	▲1.99円	8.18円	20.51円	+10.17円	-

2026年3月期の業績予想（グループ会社別）

- ASNOVA社、Qool社ともに、非常に高い収益力を予想。
- ASNOVA Vietnamは投資フェーズでありながらも、2030年の営業利益黒字化に向けて販路拡大。

(単位：百万円)	売上高	償却前営業利益 (EBITDA)	償却前営業利益率	営業利益	営業利益率
レンタル事業	5,265	2,453	46.6%	405	7.7%
ASNOVA	4,450	2,241	50.4%	504	11.3%
Qool*	722	237	32.9%	164	22.7%
ASNOVA Vietnam	93	▲25	-	▲145	-

M&Aが連結業績に与える影響について

- 2026年3月期に計上予定のM&A関連費用は25百万円。
- Qool社の業績の反映は2026年3月期第2四半期から9か月分を計上。

M&A関連費用計上

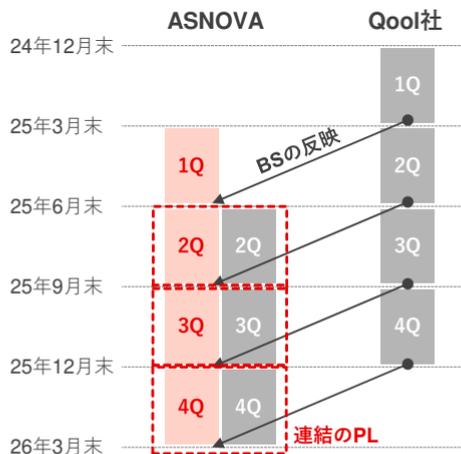
2025年3月期計上

132百万円

2026年3月期計上

25百万円

Qool社の業績への寄与



Qool社の直近業績

2024年12月期^{※1}

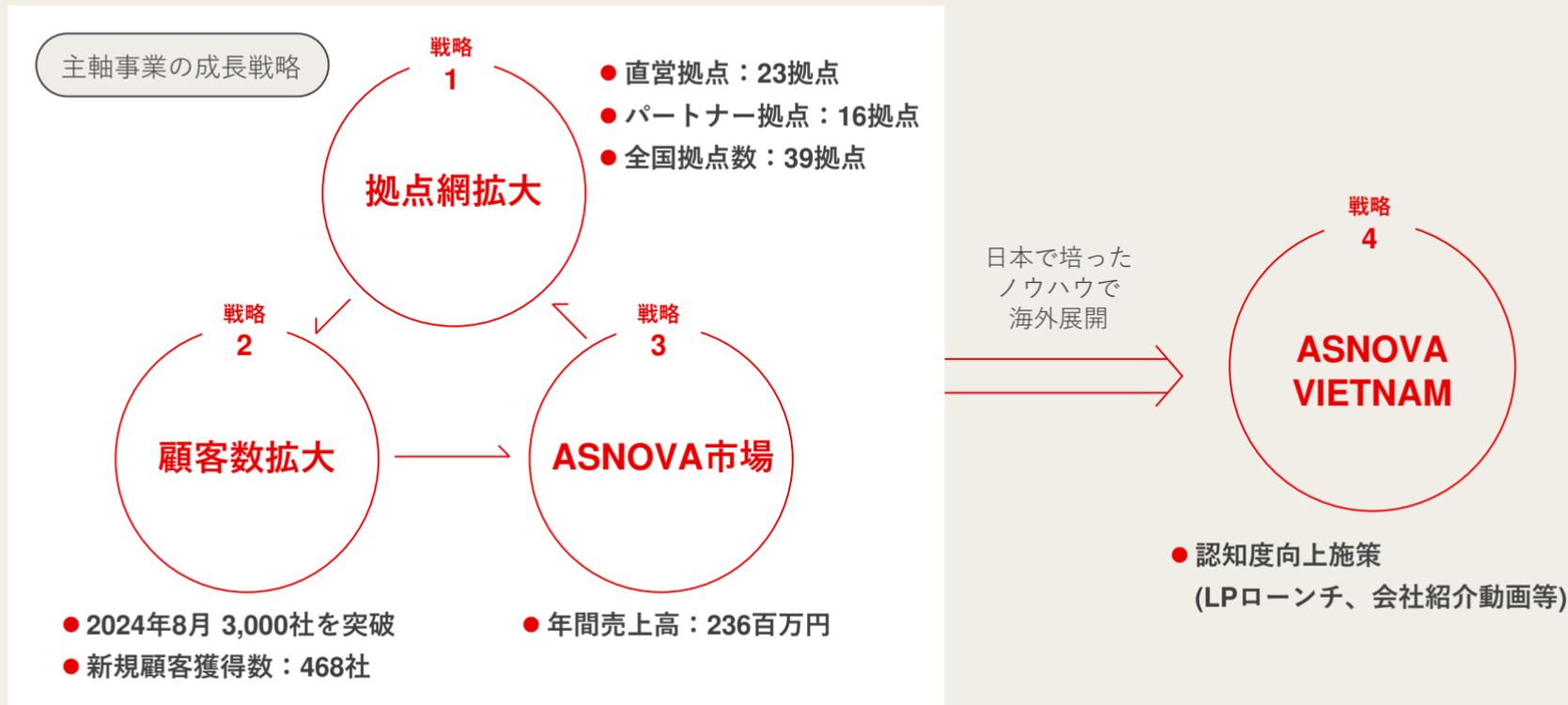
売上高 **SGD 8 mn**
(930 百万円^{※2})

営業利益 **SGD 2 mn**
(244 百万円^{※2})

05

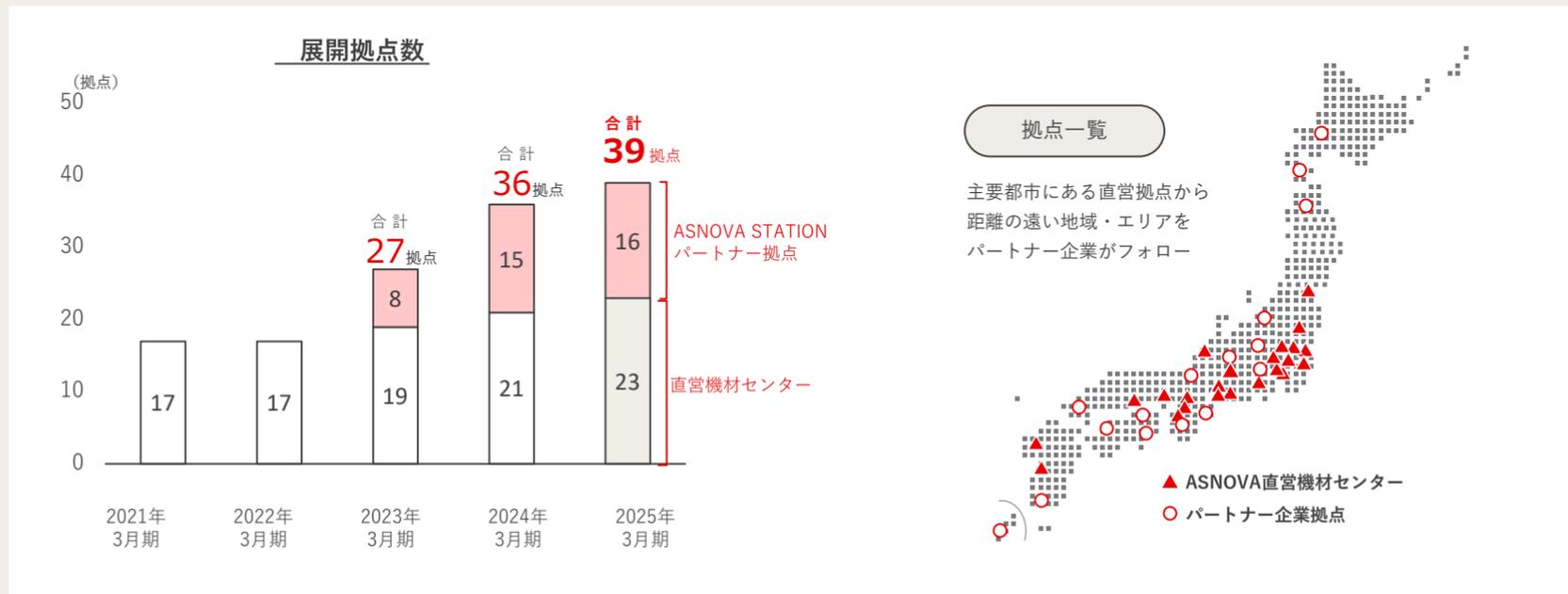
成長戦略の振り返り

2025年3月期の振り返り サマリー



2025年3月期振り返り① ASNOVAの拠点網拡大

- 直営機材センターについては、2024年9月に千葉柏センター、10月熊本センターと計2拠点を新規出店。
- パートナー拠点については、鹿児島、和歌山と計2拠点を新規出店。



2025年3月期振り返り② 新規顧客数拡大への取り組み

- 顧客数は順調に増加し、2024年8月に3,000社を突破。2025年3月期累計で468社増加し、過去最高の増加となった。
- 社員研修の開催など、引き続き顧客サポート体制を整えていく。

取り組み

1 既存センターのさらなる成長と新規センター開設

- 拠点数拡大による新規開拓活動の強化
- 認知拡大に向けたSEO対策強化
- 新足場レンタルサービスのバージョンアップ

取り組み

2 社員の戦力アップ

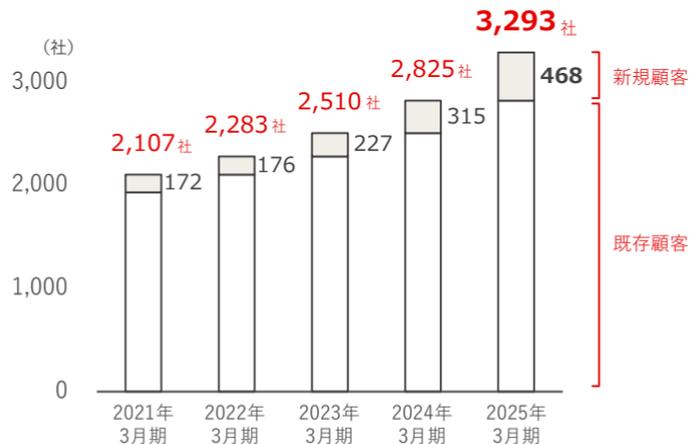
- 毎月のスキルアップ研修の継続
- 新規顧客紹介の増加を目指した顧客との良好な取引の継続
- 市場環境と育成環境のバランスを踏まえた更なる増員

取り組み

3 STATIONパートナーの成長支援と新規パートナーの開設

- 事業運営支援の強化
- パートナー企業の認知拡大に向けたSEO対策強化
- 新たなパートナーの開拓

顧客数



※新規顧客とは当該事業年度において新たに契約締結した顧客数であり、既存顧客とは当該事業年度の前年度までに契約締結した顧客数を示しております。

2025年3月期振り返り③ 「仮設機材の総合サイト」本格稼働

- 開設2期目となる2025年3月期の年間の売上高は前年比14.0%増の236百万円。
- 本来廃棄されるはずだった足場を買取・販売することで循環型社会の実現に貢献する。

ASNOVA 市場

2023年5月
サービス開始

「日本一の仮設機材の総合サイト」を目指して



売上高

2024年3月期 207 百万円

2025年3月期 236 百万円

前期比
+14.0%

長期的な目標・展望

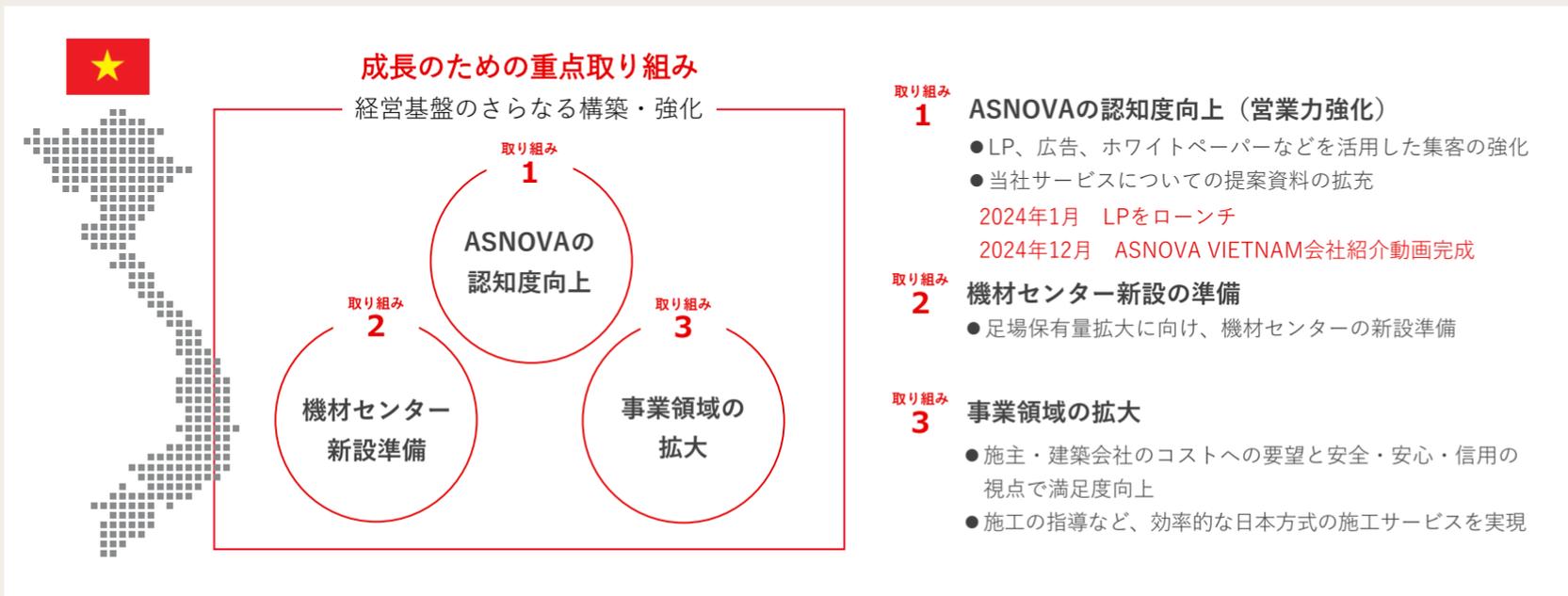
業界における
EC売上
日本一

業界における
買取金額
日本一

個人や
建設業者へ
ターゲット
拡大

2025年3月期振り返り④ ベトナムシェアNo.1のための基盤強化

- 2030年黒字化に向け、引き続き認知拡大や足場保有量の増加を目指す。
- 中長期的な視点で市場シェアNo.1の地位獲得を目指す。



06

今後の成長戦略

経営計画と戦略開示の考え方

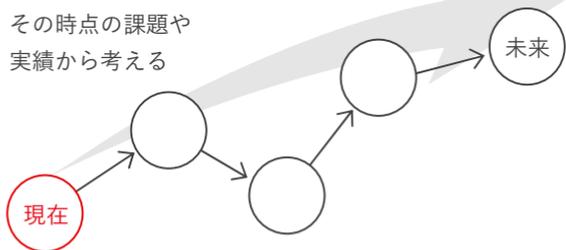
- 長期的な目線である「2030年のありたい姿」を策定、「ありたい姿」に向け、M&Aを中心に着実に成長すべく蓋然性の高い単年の業績目標を設定・開示。

従来

目標設定の
考え方

■ フォーキャスト型

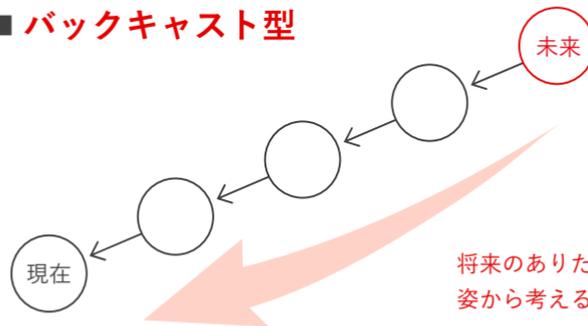
その時点の課題や
実績から考える



2026年3月期～

■ バックキャスト型

将来のありたい
姿から考える



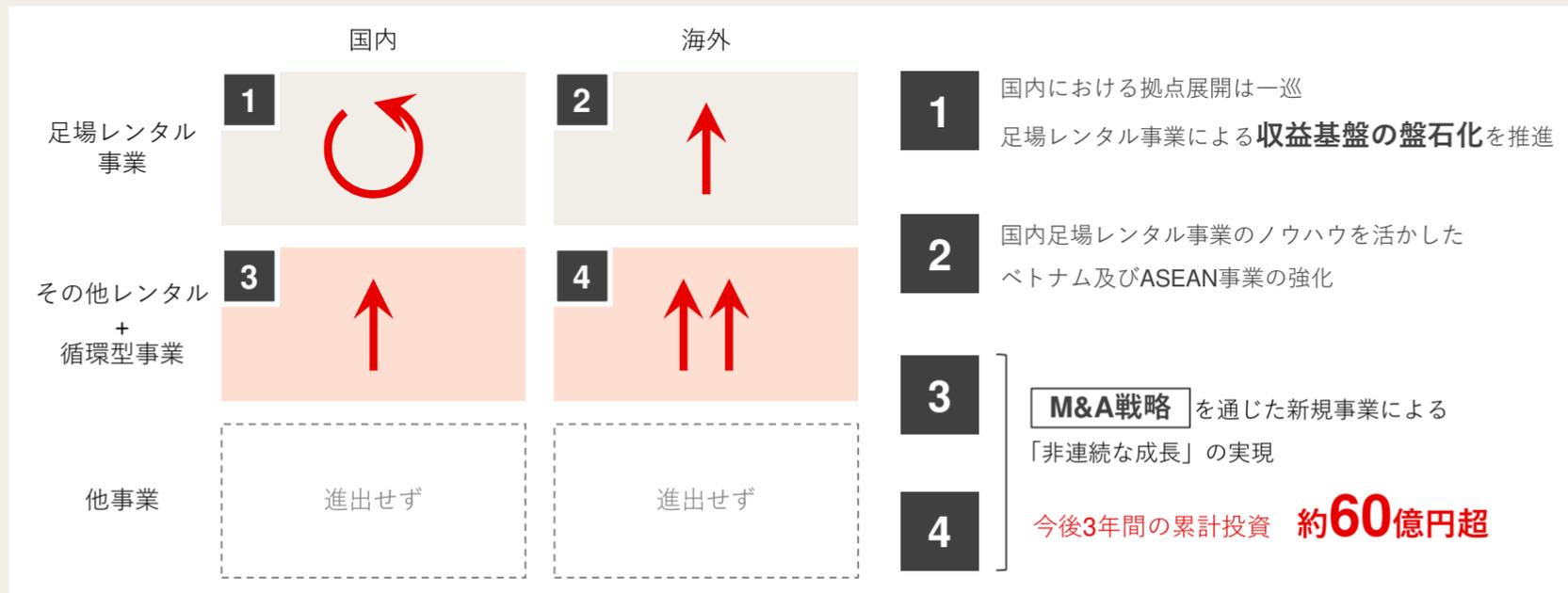
戦略の期間と
開示の
タイミング

3カ年の中期計画計画を
毎年更新して開示
(ローリング形式)

2030年のありたい姿を策定し
M&Aを中心に着実に達成するため
蓋然性の高い単年の業績目標を設定・開示

今後の成長戦略

- 投資先を足場からM&Aに切り替え、今後3年間で約60億円の投資をしていく。
- M&A戦略はQool社を皮切りにASEAN地域（海外）への展開を強化。



M&A戦略におけるM&Aポリシー

- M&Aポリシーを遵守し、その他レンタル + 循環型事業において「非連続的な成長」を実現する。

01 レンタル事業を中心とした循環型ビジネスの新たな領域に進出する

02 既存のレンタル事業を収益基盤とし、連続的な非連続的成長を実現する

03 グループの企業価値を最大化させるためにPMIを重視する

04 国内だけでなく海外はASEANを中心とし、グローバルに展開する

05 キャッシュフローに基づく適切なバリュエーションを重視する

最初の譲受：Qool Enviro社（2025年4月にM&A）



商号	Qool Enviro Pte.Ltd.
本社所在地	22 Tuas View Place, Linkpoint Place, Singapore (637868)
創業・設立	2006年6月1日
従業員数	60名（2025年1月末日時点）
事業内容	①仮設トイレのレンタル ②清掃や廃棄物管理サービス等の衛生関連ソリューション提供
主要取引先	建設会社、イベント管理会社、医療機関等
売上高	FY2023/12 971百万円（≒SGD 8,677千）
税引前利益	FY2023/12 255百万円（≒SGD 2,282千）
償却前営業利益	FY2023/12 369百万円（≒SGD 3,296千）



- ・ ASEAN諸国へのアクセスが非常に良い
- ・ 税制面で非常に優遇されている
- ・ 事業継承M&Aが今後本格化していくと考えられる

Qool社の特長

- 仮設トイレの減価償却期間は足場と同様5年である一方、適切な管理を行うことで10年以上の利用が可能で、収益性の高さが特長。
- 収益性が高いことで、安定した事業運営と投資の基盤になるため、今後の新規事業展開にも好影響を与える。

Qool Enviro社 (2023年12月期)

親和性の高いビジネスモデル			高い収益力			安定した顧客基盤
事業内容	償却期間	使用可能年数	売上高	償却前 営業利益率	売上高 純利益率	取引先数
仮設トイレ レンタル	5年	10年以上	971百万円	38.0%	22.6%	600社超
ASNOVA (2024年3月期)						
足場 レンタル	5年	10年以上	3,785百万円	49.4%	5.6%	3,000社超

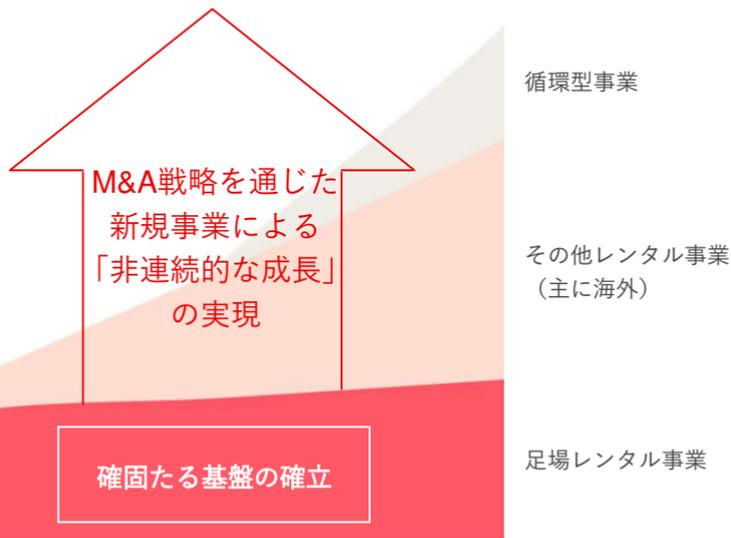
2030年のありたい姿

足場レンタル事業が確固たる収益基盤となり
新規事業が成長エンジンとして
一層の収益拡大を牽引する
高収益のグローバルな循環型ビジネスの
エクセレントカンパニーでありたい

成長イメージ図

2024年度

2030年度



認識するリスクと対応策

成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える 可能性があるとして認識する主要なリスク

		発生可能性	発生時期	影響度	対応策
商品	当社グループのレンタル仮設機材および販売仮設機材には製造物責任（PL）のリスクが内在しています。製品の欠陥に起因して発生する損害賠償を製造メーカーが補填できない場合は、当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。	低	常時	大	製品の仕入れに係る製造メーカーとの基本取引契約において責任の帰属先を明確化しリスクを低減します。
人材	成長を支える優秀な人材を確保することが重要だと考えていますが、雇用情勢の変化等により計画通りに人材が確保できない場合は、当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。	中	常時	大	教育研修実施の機会・内容の充実および教育制度の拡充により、社員の育成と採用を推進します。
市場	当社グループの業績は建設投資動向の影響を受ける傾向にあります。そのため、建設投資動向が著しく変動し仮設機材のレンタル需要が落ち込んだ場合は、レンタル関連事業単一セグメントにて業務運営を行う当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。	低	常時	大	顧客数の拡大およびサービスの拡充を推進することによりリスクを低減します。
ASNOVA STATION	ASNOVA STATIONについて、当社グループの指導が及ばない等、サービスレベルの低下に起因してブランドに悪影響を及ぼし、当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。	低	常時	中	定期訪問による細かなサポートにより、高いサービスレベルの均一化・向上を図ります。
M&A 事業提携	M&A及び事業提携戦略において、有効な投資機会を見出せない場合や、当初期待した投資効果を得られない場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。また、M&A等により新規事業領域・新規市場に参入する場合には、その事業・市場固有のリスクが新たに加わる可能性があります。	中	常時	大	M&Aポリシーを遵守して規律のあるM&Aを行うこと、新規事業領域や新規市場に参入の際には適宜市況を確認することでリスクを低減します。

将来の見通しについて

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点において当社が入手している情報に基づき策定しているため、リスクや不確実性を含んでおり、当社がその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等のさまざまな要因により、将来の見通し等と異なる場合があります。

また、今後の当資料のアップデートは次回は2026年6月頃とし、その後も毎年6月頃を目途に開示する予定です。

IR活動に関するお問い合わせ先

株式会社ASNOVA
経営企画室

TEL : 052-589-1848 FAX : 052-589-1849

MAIL : 9223ir@asnova.co.jp

WEB : <https://www.asnova.co.jp/>



07

Appendix

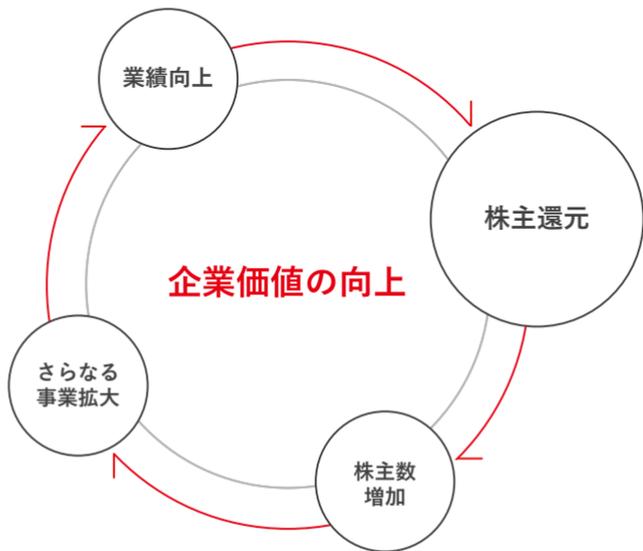
SDGs実現に向けて

- ASNOVAは社会的な課題に向き合い、レンタル事業を通じて社会課題の解決を目指す。
- 持続可能な社会を目指すために、SDGs達成に寄与する。



株主還元について

- 事業資金の流出を避けながら内部留保を充実させ、業容拡大を目指すとともに、株主還元も重要施策として意識。



株主還元の方針

- 業績好調に伴う、株主還元の強化
- 株式の流動性向上
- 原則として減配せずに配当の維持や増配を行う累進配当の実施

ASNOVAプレミアム優待倶楽部

保有株式数に応じて、ASNOVAプレミアム優待倶楽部で優待商品と交換できる株主優待ポイントを年2回進呈（3月末時点・9月末時点の株主）



株主優待

- 株主様への還元や、株主様との対話強化を目的として株主優待制度「ASNOVAプレミアム倶楽部」を導入。
- 保有株式数に応じて、優待商品と交換できる優待ポイントを年2回進呈。

ASNOVAプレミアム優待倶楽部

保有株式数に応じて、優待商品と交換できる
株主優待ポイントを年2回進呈
(3月末時点・9月末時点の株主)



3月末、9月末保有株式数	進呈ポイント (年2回)
500株～599株	5,000 point
600株～699株	7,000 point
700株～799株	9,000 point
800株～899株	11,000 point
900株～999株	13,000 point
1,000株～	15,000 point

優待利回りシミュレーション

● 500株保有している場合

投資金額	598円 × 500株 = 299,000円
1年間の進呈ポイント	5,000 point × 2回 = 10,000 point
ポイント利回り	10,000 point ÷ 299,000円 ≒ 3.3%

● 1,000株保有している場合

投資金額	598円 × 1,000株 = 598,000円
1年間の進呈ポイント	15,000 point × 2回 = 30,000 point
ポイント利回り	30,000 point ÷ 598,000円 ≒ 5.0%

※1：2025年5月30日の終値598円で購入したと仮定したシミュレーションです

※2：優待ポイントを1ポイント1円として計算しています

IR活動の方針

- 投資家向け説明会、SNSの配信、各種IRイベントへの出展などを継続し、一層の出来高増加と認知向上を目指す。

2025年3月期実績

- 5月～ ・ マンスリーレポートの発行
- 5月 ・ 中期経営計画発表
- ・ 2024年3月期機関投資家向け決算説明会開催
- 6月 ・ IR DAY開催
- ・ 個人投資家向けセミナー開催
- 7月 ・ インベストメントブリッジ社による
アナリストレポート「ブリッジレポート」公開
- 9月 ・ 名証IRエキスポ出展
- 11月 ・ ジェイ・フェニックス・リサーチ社による
アナリストレポート公開
- ・ 2025年3月期半期 機関投資家向け説明会開催
- 12月 ・ 個人投資家向け会社説明会開催
- 1月 ・ アナリストレポート「ブリッジレポート」公開
- 2月 ・ 個人投資家向け会社説明会開催

2026年3月期予定（※）

- 4月 ・ 個人投資家向けイベント出演
- 5月 ・ 2025年3月期機関投資家向け決算説明会開催
- 6月 ・ IR DAY開催
- 7月 ・ インベストメントブリッジ社による
アナリストレポート「ブリッジレポート」公開
- 9月 ・ 名証IRエキスポ出展
- 11月 ・ 2025年3月期半期 機関投資家向け説明会開催

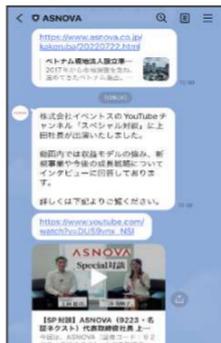
IR情報発信中のASNOVA公式SNS

- LINE @asnova
- X (Twitter) @ASNOVA9223
- YouTube ASNOVA IR チャンネル

ASNOVA公式 SNS情報

LINE

@asnova



X(Twitter)

@ASNOVA9223



Facebook

@asnova.co.jp



YouTube

ASNOVA IR チャンネル



YouTube

あすのばチャンネル

